

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070700212		
法人名	社会福祉法人 グリーンアルム福祉会		
事業所名	グリーンクリスタル		
所在地	長野県須坂市仁礼7-10		
自己評価作成日	平成 31年 1月 28日	評価結果市町村受理日	平成 31年 3月 25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「共に暮らす幸せ」「笑顔の輪」の理念を改めて振り返り、一人ひとりに笑顔をもたらすもの、幸せと感動することは何かを考え、大切にすることを指しています。行動指針を新たに定め、理念実現のため具体的に「行うことと行わないこと」を意識した行動を心掛けています。「認知症の人の心」と常に向かい合いながら、「認知症の人のしたいことが出来るように支援する」ために、スタッフ間で常に話し合えるチームづくりを目指しています。その為に認知症介護の知識・技術の修得にも力を入れています。特養、老健の入所系サービス、デイサービス、デイケアの通所系サービス、訪問介護、訪問看護の訪問系サービス、居宅介護支援事業所、ケアハウス等が同一敷地内で一体的に運営され、施設間、事業所間の連携を図りながら、高齢者の生活を支援しています

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&ijyosvoCd=2070700212-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

須坂市街地より管平に向かい県道406号線「大笹街道」を車で数分走った所に社会福祉法人運営の複合福祉施設の姿が見えてくる。数々の福祉施設とクリニックが併設され恵まれた環境の中に当ホームがある。開設から18年目を迎え、1年前に全職員で理念に対する振り返りの機会を持ち「なぜグループホームなのかを考えたホームにした」という強い思いから、行動理念をゼロから見直し、より具体的な「行動指針」として、利用者が笑顔で過ごしていただけるように寄り添う支援に取り組んでいる。「行うこと、利用者のお話をよく聞きやりたい事の実現のお手伝いをする」、「行わないこと、利用者の嫌がる事はしない、ホームの都合での支援は行わない」を重点にし、支援に取り組んでいる。また、介護職員は1名から2名の利用者を担当し、衣類の入れ替え、足りない物の手配、家族との連絡、ケア評価表の作成などを行い、合わせて日々の利用者との関わりの中から誰よりも利用者を知り、代弁者となるよう利用者に寄り添い、なぜその行動になるのか行動の意味を考え、本人に確認し、自由にやりたいことをしていただけるような支援に取り組んでいる。この2年位で多くの利用者の方が入れ替わり、現在の平均介護度は2.39という状況である。元気な方も多く、全員で風船パレーを楽しんだり、食堂で歌を歌い会話を楽しみ、また、居室を歩き来し寛いでいる利用者もあり、自由にやりたいことをして過ごしている。そのような中、全職員が気持ちを一つにし利用者に寄り添い、行動指針の実践に向けて活動し続けている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 31年 2月 6日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				